

株式会社やまや

2024年3月期

第2四半期

決算説明資料

2023年4月1日～2023年9月30日



宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目4-1

アゼリアヒルズ19階

TEL 022-742-3114(経理部)

FAX 022-742-3100

第1部：連結 2024年3月期 第2四半期の業績

連結 2024年3月期 第2四半期実績

■ 売上高	801.4 億円	(前年同期比	5.8%)	
■ 営業利益	25.7 億円	(前年同期比	380.6%)	
■ 経常利益	26.1 億円	(前年同期比	322.1%)	
■ 親会社株主に帰属 する四半期純利益	14.8 億円	(前年同期比	163.4%)	
■ EBITDA	32.6 億円	(前年同期比	149.8%)	※EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

単位: 百万円

	第2四半期累計(前期)		第2四半期累計(当期)					
	実績	構成比	業績予想	構成比	実績	構成比	予想比	前期比
売上高	75,769	—	78,900	—	80,149	—	1.6%	5.8%
売上総利益	19,170	25.3%	22,317	28.3%	22,386	27.9%	0.3%	16.8%
販管費	18,636	24.6%	20,556	26.1%	19,816	24.7%	△3.6%	6.3%
営業利益	534	0.7%	1,760	2.2%	2,570	3.2%	46.0%	380.6%
経常利益	619	0.8%	1,810	2.3%	2,613	3.3%	44.3%	322.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	564	0.7%	950	1.2%	1,488	1.9%	56.6%	163.4%
EBITDA	1,307	—	—	—	3,266	—	—	149.8%

株式会社やまぐち

セグメント別 2024年3月期 第2四半期実績

● 酒販事業

■ 売上高	664.8 億円	(前年同期比	0.9%)
■ 営業利益	18.6 億円	(前年同期比	0.6%)

● 外食事業

■ 売上高	138.1 億円	(前年同期比	37.9%)
■ 営業利益	7.0 億円	(前年同期比	-)

単位:百万円

	第2四半期累計(前期)				第2四半期累計(当期)					
	酒販事業		外食事業		酒販事業			外食事業		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比
売上高	65,884	-	10,016	-	66,484	-	0.9%	13,815	-	37.9%
売上総利益	12,841	19.5%	6,351	63.4%	13,255	19.9%	3.2%	9,153	66.3%	44.1%
販管費	10,988	16.7%	7,675	76.6%	11,390	17.1%	3.7%	8,453	61.2%	10.1%
営業利益	1,853	2.8%	△1,323	△13.2%	1,864	2.8%	0.6%	700	5.1%	-

株式会社P&P

連結財務状況 2024年3月期 第2四半期(バランスシート)

- 総資産 612.4 億円 (前期末比 3.3%)
- 負債 302.5 億円 (前期末比 1.9%)
- 純資産 309.9 億円 (前期末比 4.7%)
- 自己資本 301.1 億円 (前期末比 4.4%)

単位:百万円

	2023年3月期 期末	2024年3月期 第2四半期末	前期末比
流動資産	36,481	38,810	6.4%
固定資産	22,794	22,435	△1.6%
流動負債	22,957	23,654	3.0%
固定負債	6,725	6,600	△1.9%
純資産	29,592	30,991	4.7%
総資産	59,275	61,245	3.3%

■ 資産に関するポイント

現金及び預金 120.5億円 (+3.1億円)
 商品及び製品 193.4億円 (+15.6億円)
 有形固定資産 105.5億円 (△1.5億円)
 のれん 16.8億円 (△2.8億円)

■ 負債に関するポイント

買掛金 123.1億円 (+20.1億円)
 短期借入金 50億円 (△20億円)
 1年内返済予定の長期借入金 2億円 (+0.4億円)
 長期借入金 26.7億円 (△1.1億円)

■ 純資産に関するポイント

利益剰余金 207.7億円 (+12億円)
 非支配株主持分 8.7億円 (+1.3億円)

株式会社やまや

連結財務状況 2024年3月期 第2四半期(キャッシュ・フロー)

単位:百万円

	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計	連結累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,130	3,078
税金等調整前四半期純利益	510	2,150
減価償却費・のれん償却費	645	623
雇用調整助成金の未収	197	-
仕入債務の増加	3,790	2,012
その他合計	△3,012	△1,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△576	△395
固定資産の取得による支出	△644	△434
その他合計	68	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485	△2,370
短期借入金の純増減額	-	△2,000
長期借入金の借入による収入	-	-
長期借入金等の返済による支出	△108	△88
配当金、その他の支出	△377	△282
現金及び現金同等物の増減額	1,068	312
現金及び現金同等物の期首残高	13,791	11,745
現金及び現金同等物の期末残高	14,859	12,057

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益 21.5 億円

減価償却費 5.2 億円

のれん償却費 0.9 億円

たな卸資産の増減額 △15.7 億円

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 △4.3 億円

差入保証金の回収による収入 1.4 億円

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額 △2.8 億円

株式会社ヤマダ

連結 2024年3月期 業績予想

売上高	1,568.0 億円	(前年同期比 2.6%)
営業利益	38.6 億円	(前年同期比 36.1%)
経常利益	39.0 億円	(前年同期比 32.1%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	22.5 億円	(前年同期比 16.6%)

単位: 百万円

	2023年3月期		2024年3月期		
	実績	構成比	業績予想	構成比	前期比
売上高	152,764	—	156,800	—	2.6%
営業利益	2,837	1.9%	3,860	2.5%	36.1%
経常利益	2,953	1.9%	3,900	2.5%	32.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,930	1.3%	2,250	1.4%	16.6%

(2024年3月期予想セグメント別)

	酒販事業		外食事業	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	129,200	△0.8%	28,100	23.7%

株式会社ヤマザキ

連結 2024年3月期 第2四半期業績のポイント

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変更され、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向となったものの、緊迫した海外情勢並びに為替の影響等によるエネルギー資源をはじめとした物価上昇により、消費者動向など先行き不透明な状況が続いております。

酒販事業における売上高は664億84百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は18億64百万円(同0.6%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間は、行動制限の緩和により各地でイベントやお祭りが再開されるなど、人流の回復が進んだことにより、料飲店様の需要や祭り需要が回復しました。また、インバウンド需要においては東京や大阪など都心部に加え、地方で需要が出てまいりました。9月には10月1日の酒税改正前にビール類新ジャンル等の仮需がありました。以上の結果、当四半期累計期間の売上高は前年同等の水準で推移しました。

新規出店として、三沢松園店(青森県)、馬見ヶ崎店(山形県)、小山城南店(栃木県)の3店を開店しました。また、門戸厄神店(兵庫県)を閉店しました。

2023年9月末における酒販事業の店舗数は、353店舗(前年同期比4店増)となりました。

外食事業における売上高は138億15百万円(前年同期比37.9%増)、営業利益は7億円(前年同期は営業損失13億23百万円)となりました。

外食業界におきましては、ライフスタイルの変化、お客様の消費行動の変化、各種値上がりへの対応などの課題はあるものの、お客様のご来店客数は着実に回復傾向にあります。このような状況のなか、当社グループは「お客様からありがとうと言われる企業になろう」という企業理念のもと、お客様に満足してお帰りいただき、また来たいと思っていただけるよう、QSCA(品質・サービス・清潔・雰囲気)の向上に取り組んでまいりました。当第2四半期会計期間においては、第1四半期会計期間から継続して、宴会、インバウンド及び国内旅行団体の集客が堅調に推移しており、DX推進やメニュー改定によるコスト高への対応等もあわせ、業績は順調に推移しました。店舗開発としましては、コロナ禍において控えていた新規出店を再開し、当第2四半期連結累計期間において直営店2店舗、FC店1店舗を出店するとともに、お客様に居心地の良い空間を提供するため、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)をすすめてまいりました。

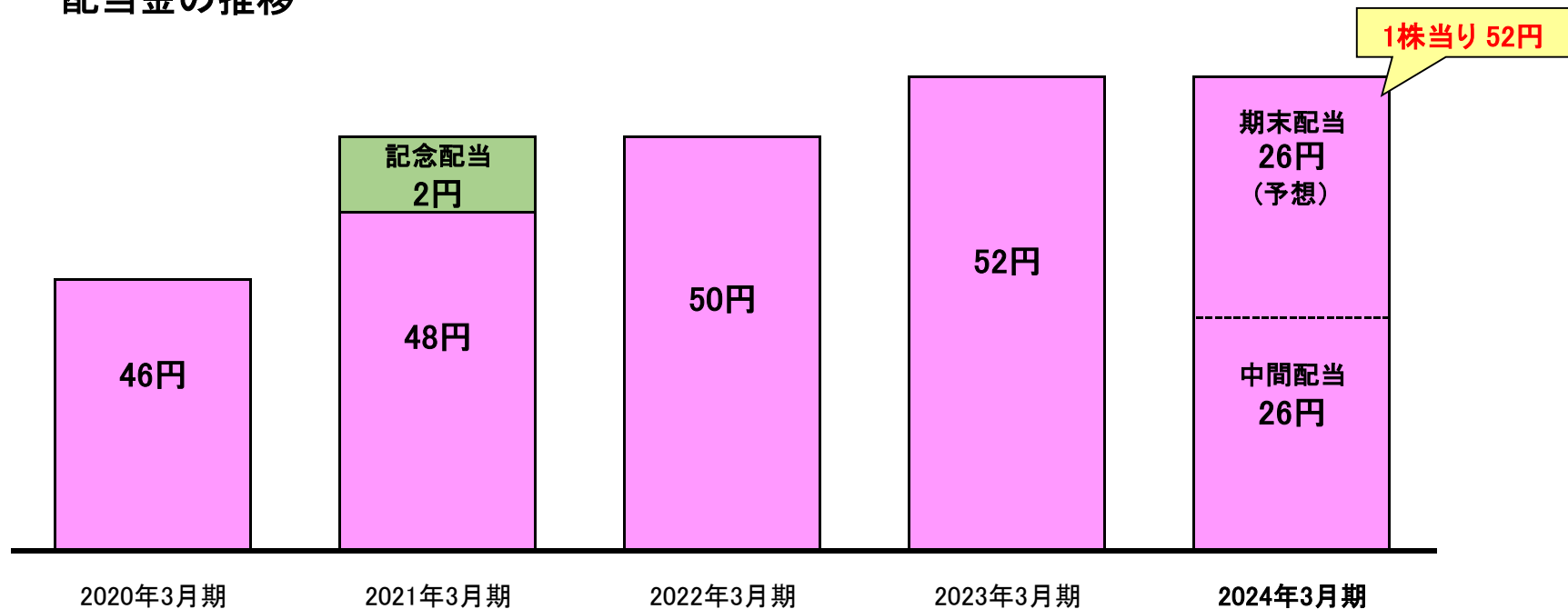
2023年9月末の外食事業直営店は、341店(前年同期比26店減)、飲食FC店は、308店(同22店減)となり、飲食店の総店舗数は、649店(同48店減)となりました。

株式会社PまP

配当政策について

- 当社は、安定的な配当を継続することが配当政策上重要であると考えております。さらに、企業体質の一層の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を勘案して、株主への配当を実施していくことを基本方針とし、中間配当と期末配当の年2回の配当を行うことにしております。
- この方針に基づき、2024年3月期の中間配当を、直近の中間期決算を考慮し、公表済みの配当予想のとおり、1株当たり26円といたしました。期末配当については1株当たり26円、合計1株につき52円を予想しております。

配当金の推移



株式会社PまP

業態(屋号)別店舗数について
2023年9月末

〈酒販事業〉	総店舗数	うちダイソー併設店舗数
やまや	345	44
業務店・通販	8	0
酒販計	353	44

〈外食事業〉	総店舗数	うち直営店	うちFC店
はなの舞	104	47	57
さかなや道場	103	77	26
安べゑ	32	31	1
牛星	18	13	5
他業態(チムニー)	111	48	63
コントラクト	94	94	0
新橋やきとん	18	18	0
豊丸・かいじ	9	9	0
つぼ八	134	2	132
伊藤課長・焼肉の達人	11	1	10
他業態(つぼ八)	15	1	14
外食計	649	341	308

グループ総店舗数	1,002
----------	-------

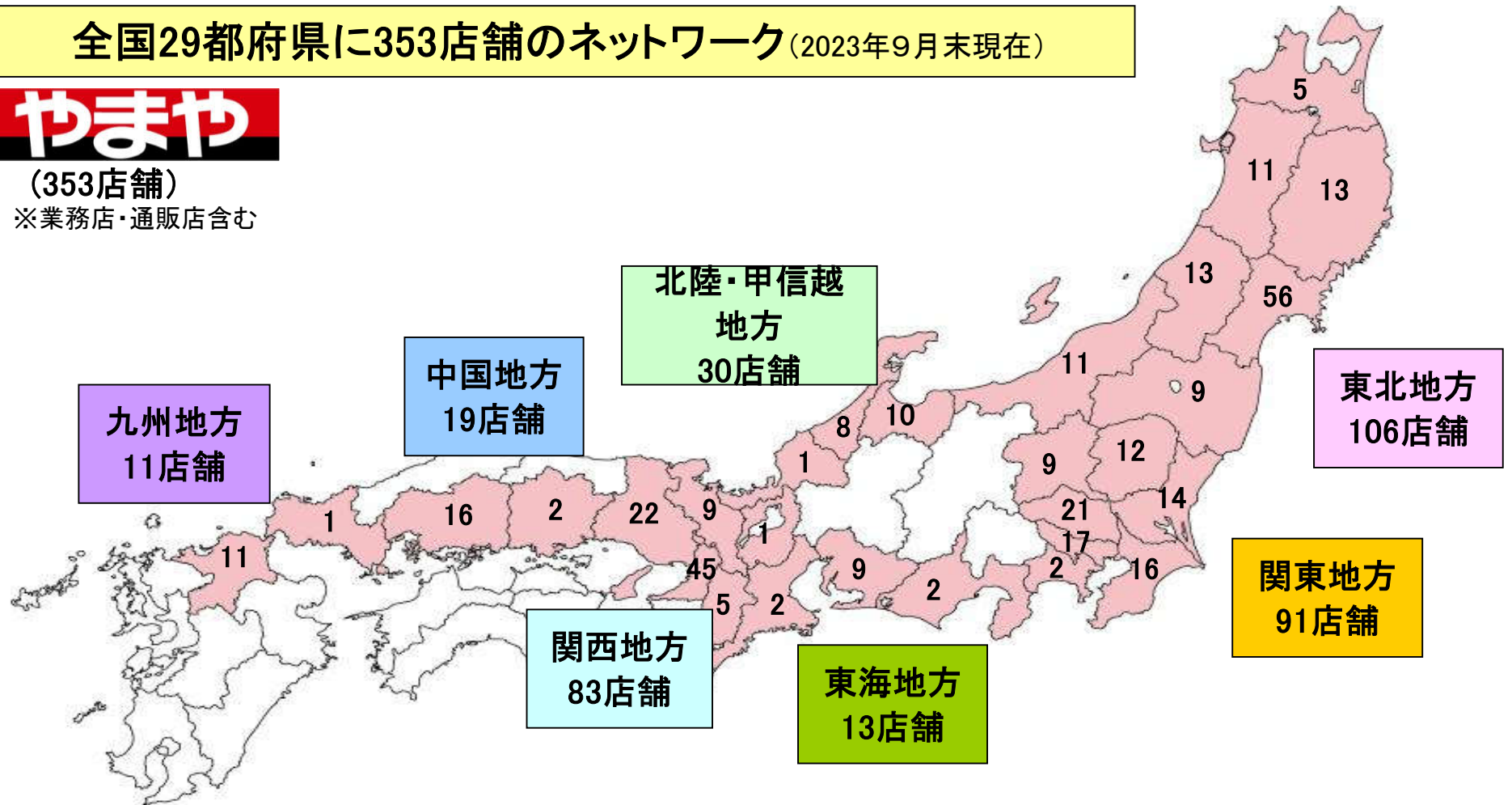
酒販事業 店舗ネットワーク

全国29都府県に353店舗のネットワーク(2023年9月末現在)

やまや

(353店舗)

※業務店・通販店含む



株式会社やまや

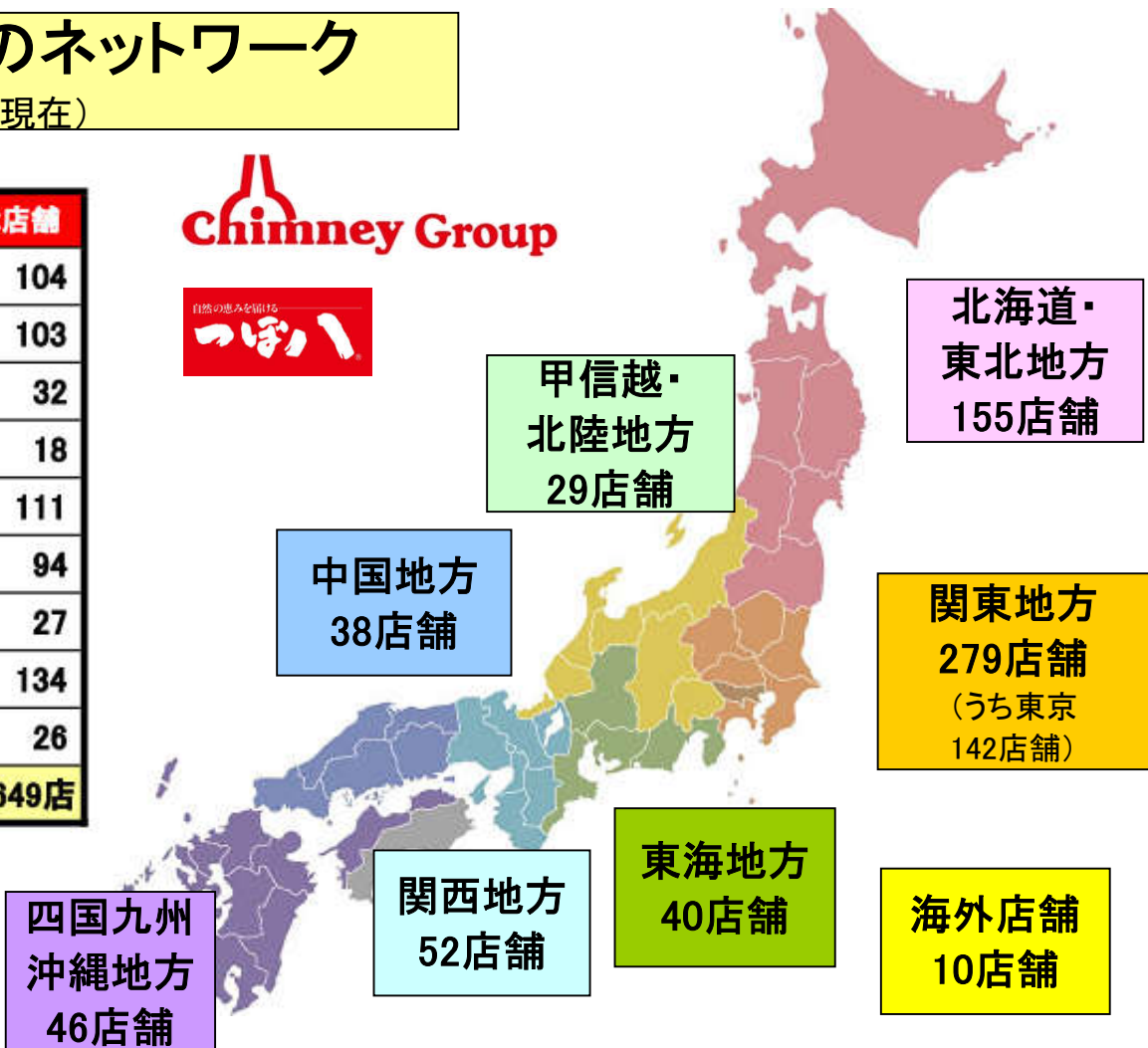
外食事業 店舗ネットワーク

国内外で649店舗のネットワーク

(2023年9月末現在)

	直営店	FC店	総店舗
はなの舞	47	57	104
さかなや道場	77	26	103
安べゑ	31	1	32
牛屋	13	5	18
その他	48	63	111
コントラクト	94	0	94
チムニー子会社	27	0	27
つぼ八	2	132	134
伊藤課長等	2	24	26
合計	341店	308店	649店

Chimney Group



株式会社やまや

重要な連結子会社の状況

名称	資本金	議決権比率	主要な事業内容
やまや関西(株)	45百万円	100.0%	酒類・食料品等の小売
やまや商流(株)	38百万円	100.0%	酒類・食料品等の卸売
やまや東日本(株)	10百万円	100.0%	酒類・食料品等の小売
大和蔵酒造(株)	10百万円	100.0%	酒類・食料品の製造及び卸売
チムニー(株)	100百万円	50.8%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1)めっちゃ魚が好き(株)	100百万円	100.0%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1) (株)紅フーズコーポレーション	10百万円	100.0%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1)魚鮮水産(株)	20百万円	83.4%	漁業、鮮魚の仕入及び販売
(※1)大田市場チムニー(株)	5百万円	100.0%	鮮魚・青果等の仕入及び販売
(※2)(株)つぼ八	50百万円	90.0% (34.0%)	居酒屋を中心とした飲食業
(※2)つぼ八酒類販売(株)	10百万円	100.0%	酒類の卸売

(※1)めっちゃ魚が好き(株)、(株)紅フーズコーポレーション、魚鮮水産(株)、大田市場チムニー(株)の3社はチムニー(株)を通じた間接保有の連結子会社です。チムニー(株)の3社の議決権比率は、めっちゃ魚が好き(株)、(株)紅フーズコーポレーション及び大田市場チムニー(株)は100%、魚鮮水産(株)は83.4%となっております。

(※2)議決権比率()内は、当社子会社であるチムニー(株)の保有率です。つぼ八酒類販売(株)は(株)つぼ八を通じた連結子会社です。(株)つぼ八の議決権比率は100%であります。

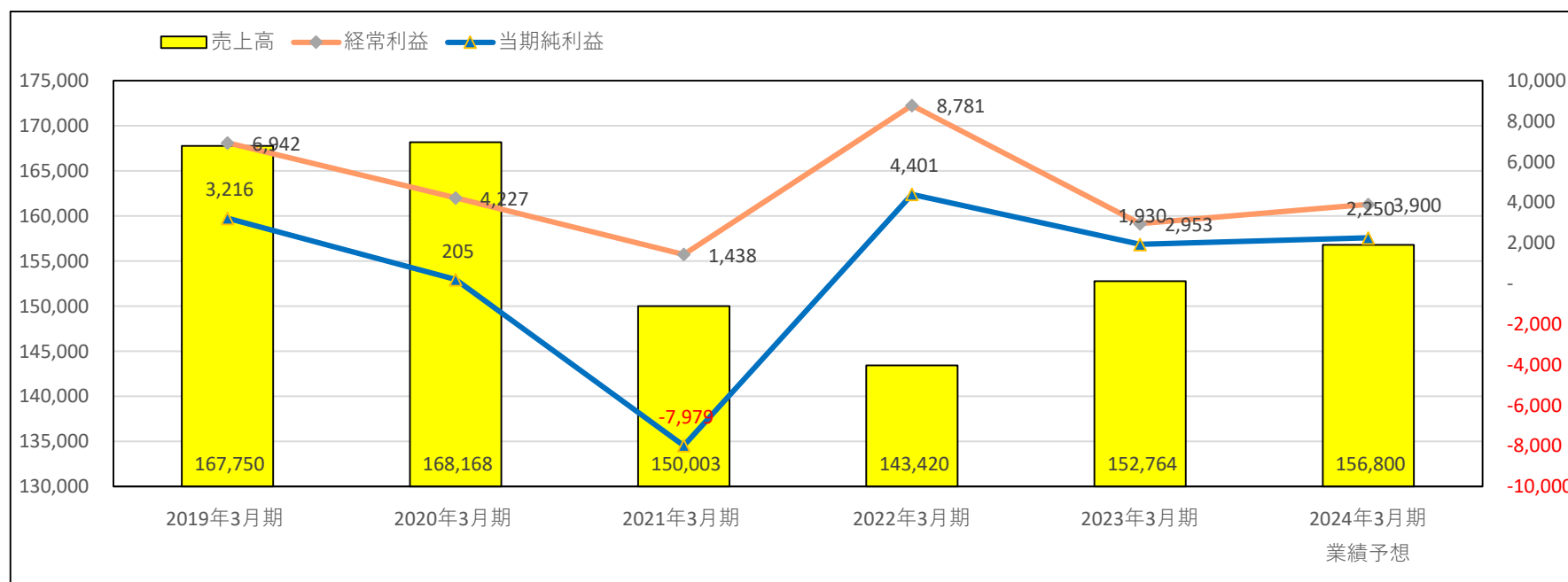
補足:チムニー(株)の100%連結子会社であった(株)シーズライフは、2023年7月1日にチムニー(株)に吸収合併いたしました。

株式会社やまや

連結決算推移

単位: 百万円

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 業績予想
売上高	167,750	168,168	150,003	143,420	152,764	156,800
営業利益	6,894	4,163	-251	643	2,837	3,860
経常利益	6,942	4,227	1,438	8,781	2,953	3,900
当期純利益	3,216	205	-7,979	4,401	1,930	2,250

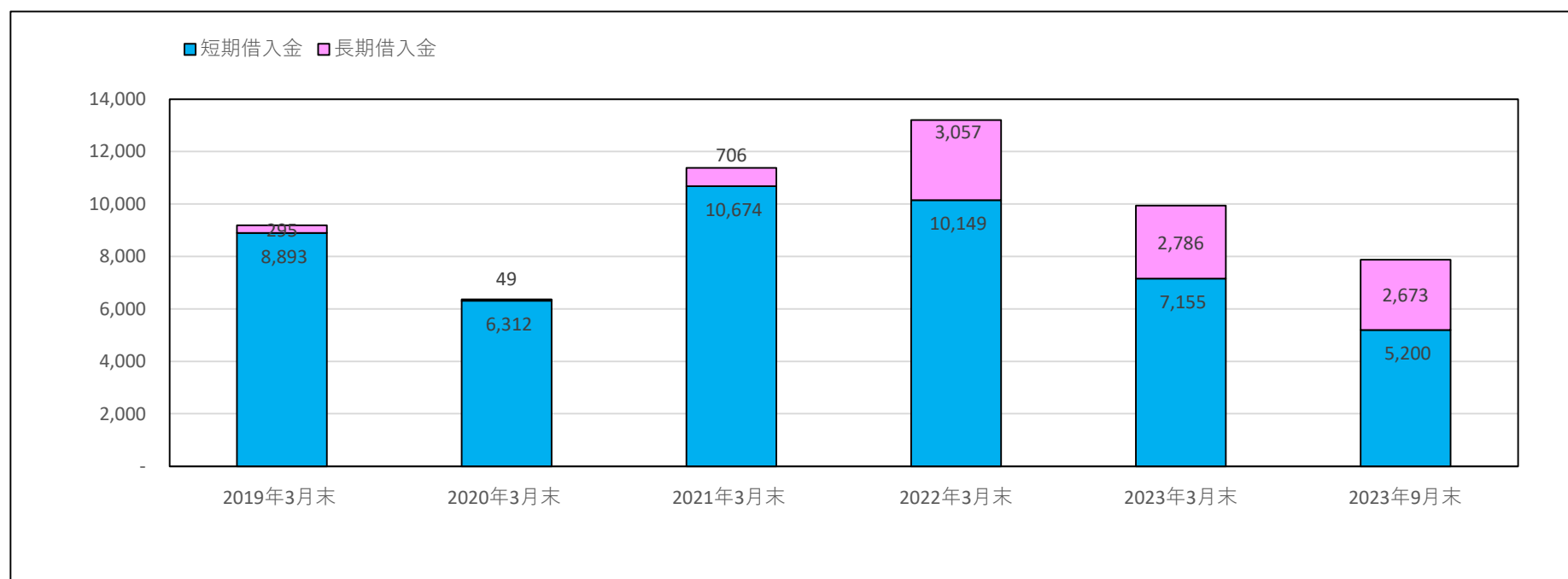


株式会社P&P

連結 借入金の状況

単位: 百万円

	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末	2023年9月末
短期借入金	8,893	6,312	10,674	10,149	7,155	5,200
長期借入金	295	49	706	3,057	2,786	2,673
合 計	9,188	6,361	11,381	13,206	9,941	7,873



株式会社ヤマダ

第2部:セグメント別 2024年3月期 第2四半期の業績

酒販事業 2024年3月期 第2四半期実績

- 売上高 664.8 億円 (前年同期比 0.9%)
- 営業利益 18.6 億円 (前年同期比 0.6%)

単位:百万円

	第2四半期累計(前期)		第2四半期累計(当期)		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	65,884	—	66,484	—	0.9%
売上総利益	12,841	19.5%	13,255	19.9%	3.2%
販管費	10,988	16.7%	11,390	17.1%	3.7%
営業利益	1,853	2.8%	1,864	2.8%	0.6%

株式会社P&P

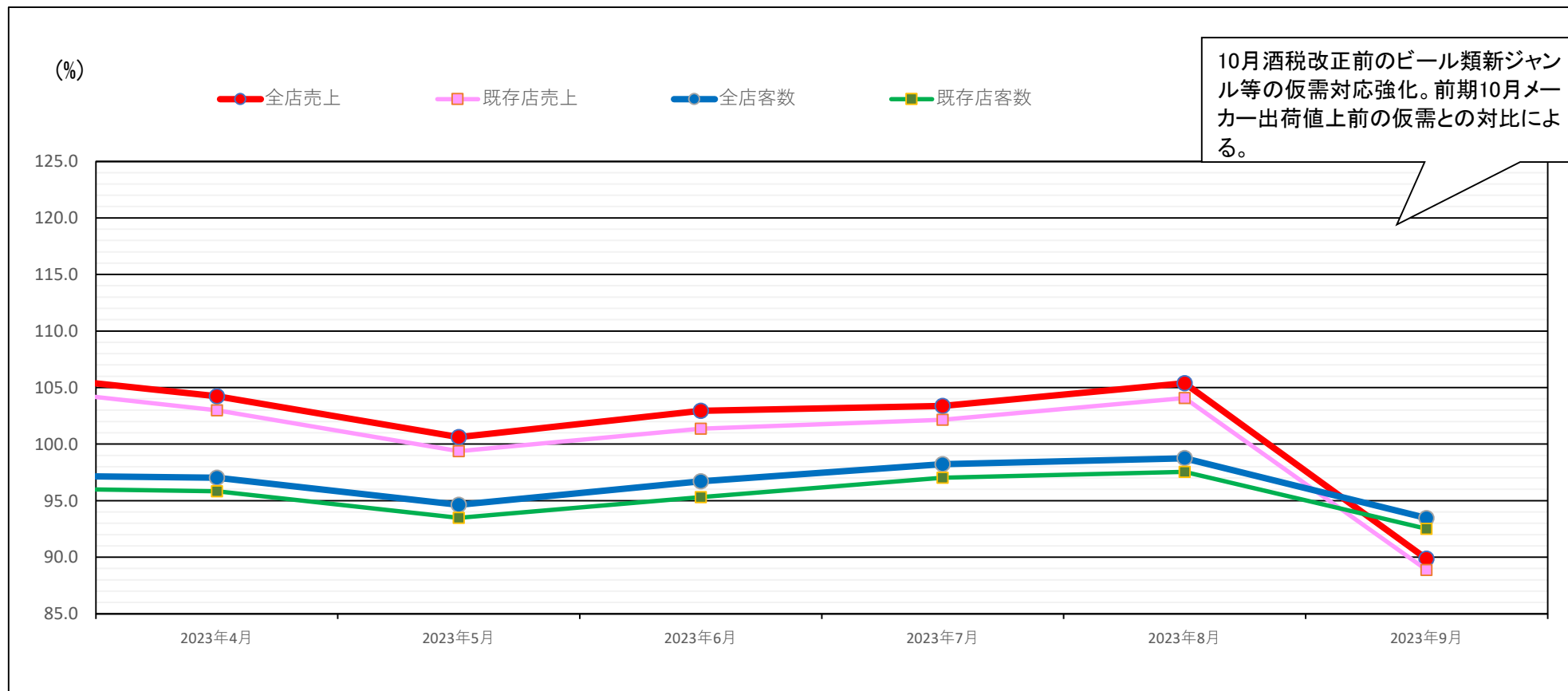
酒販事業 2024年3月期 第2四半期 主要数値の内容

- 売上高 664.8 億円（前年同期比 0.9% ）
 - 既存店 +2.8 億円（前年同期比 0.4% ）
 - 全 店 +6.2 億円（前年同期比 1.0% ）
- 売上総利益率 19.9%（前年同期比 0.4 ポイント）
- 営業利益率 2.8%（前年同期比 △0.0 ポイント）

株式会社ヤマダ

酒販事業 2024年3月期 第2四半期の業績

店舗売上及び客数 前年対比の推移



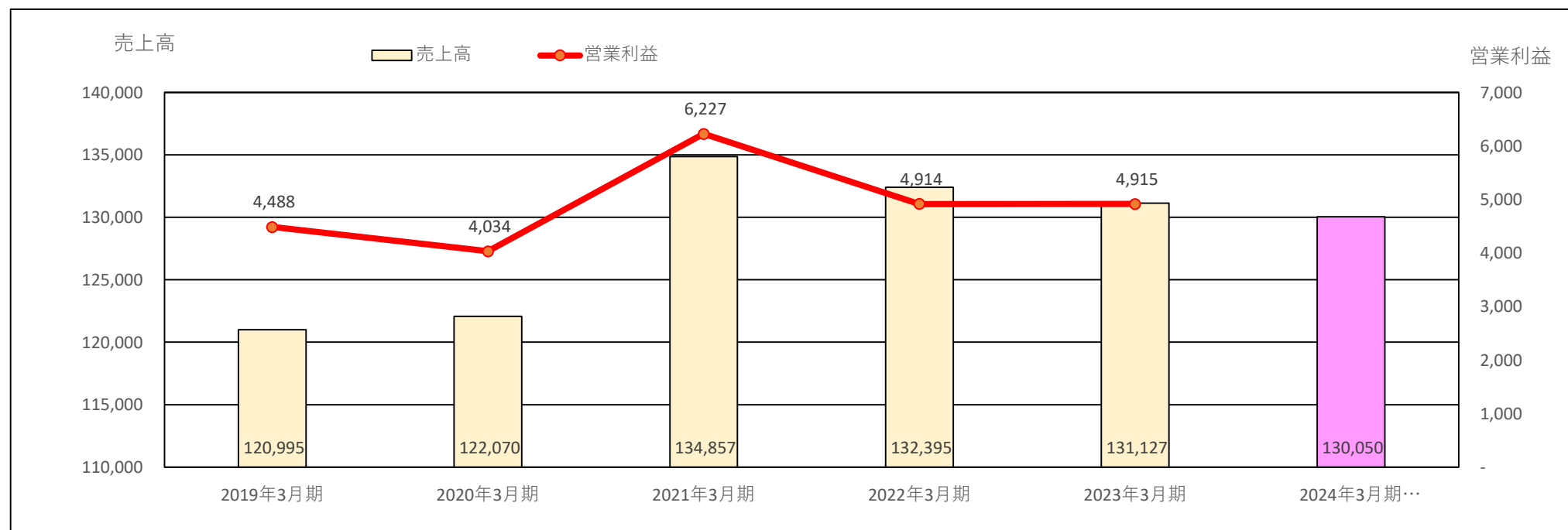
株式会社ヤマダ

酒販事業 決算推移

単位:(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (計画)
売上高	120,995	122,070	134,857	132,395	131,127	130,050
営業利益	4,488	4,034	6,227	4,914	4,915	

※収益認識反映前



株式会社P&P

外食事業 2024年3月期 第2四半期実績

■ 売上高 138.1 億円 (前年同期比 37.9%)
■ 営業利益 7.0 億円 (前年同期比 -)

単位:百万円

	第2四半期累計(前期)		第2四半期累計(当期)		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	10,016	-	13,815	-	37.9%
売上総利益	6,351	63.4%	9,153	66.3%	44.1%
販管費	7,675	76.6%	8,453	61.2%	10.1%
営業利益	△1,323	△13.2%	700	5.1%	-

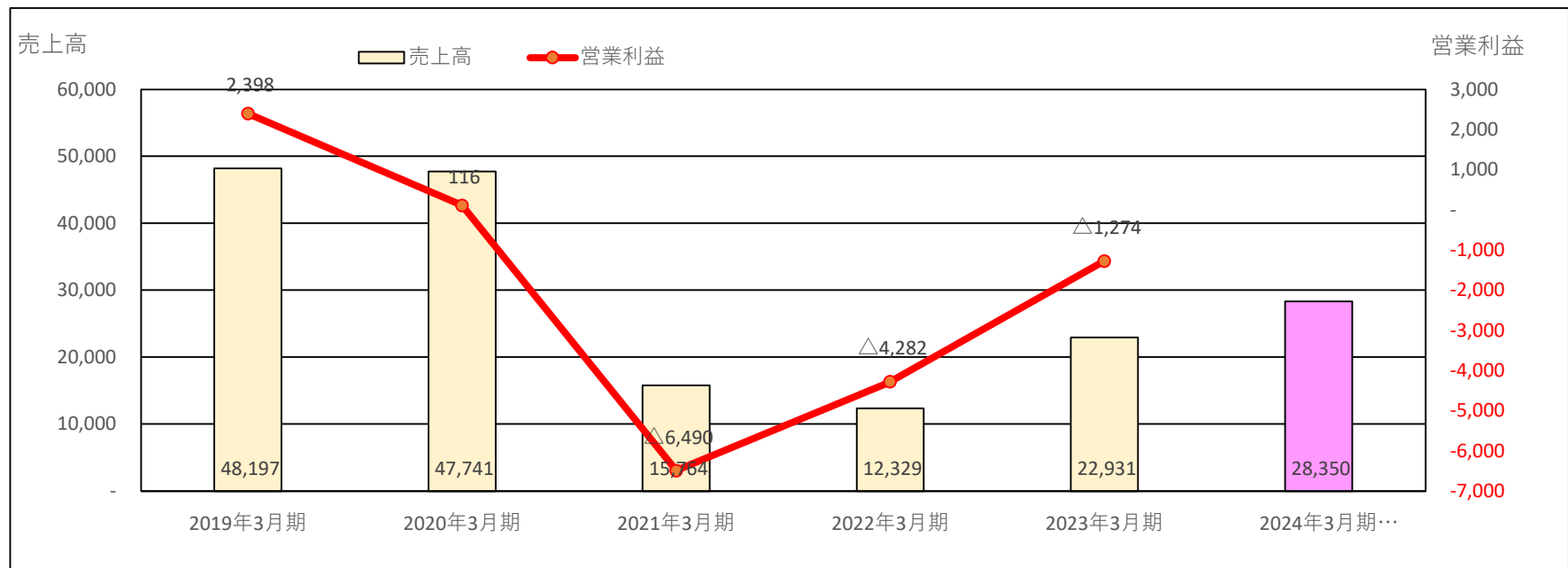
株式会社P&P

外食事業 決算推移

単位:(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (計画)
売上高	48,197	47,741	15,764	12,329	22,931	28,350
営業利益	2,398	116	△6,490	△4,282	△1,274	

※収益認識反映前



株式会社Pまや

サステナビリティ活動

やまやグループは、「お酒」と「食」を通じて「持続可能な社会の実現」に貢献します

「環境貢献」

■ 3R推進の取り組み

酒販売する側の責任として、特にビール瓶や不足している一升瓶等のリターナブル瓶の回収について積極的にお客様へ呼びかけ

◎ リターナブル瓶の回収実績
(2023年4~9月) 590,852 ケース

◎ リサイクルの回収実績
(2023年4~9月) 2,851.7 トン



酒類販売のやまや（仙台市）は1月から、顧客に一升瓶の回収を呼びかける掲示物を全店舗に貼っている。やまやで購入した商品に限定せず、店頭で瓶と引き換えに「容器保証金」として1本当たり5円の割引券を渡す。

「びん商」と呼ばれるリサイクル業者に渡して検査し、酒造会社向けに再流通させる。店頭で瓶の回収や仕分けを担うやまや商流の藤原紀久夫社長（55）は「1952年のやまやの創業以来、これほど瓶が不足したことはなかった。酒販店の義務として回収を続けたい」と強調する。

7/15 河北新報



2023年7月 酒販ニュース

■ 環境・社会に配慮した商品の展開

生産者から販売者、購入者、再生利用事業者などの「バリューチェーン」で環境負荷を低減させた商品の展開を強化

- ◎ オリジナル焼酎900mlに、環境にやさしいリターナブル瓶を使用して販売
- ◎ 無農薬、有機栽培などサステナブルなワインをコーナー化
- ◎ 毎月発行している「メッセージ・ド・やまや」で、サステナブルな取り組みをしているメーカーの商品を紹介。



大薩摩25度
よしいち黒25度
よしいち白25度



オーガニック(無農薬)ワイン
販売構成比 約23.7%



◀今年のボージョレヌーヴォーは「サステイナブルヌーヴォー」と題し、ユーロリーフ（ヨーロッパ有機認証）、HVE（環境価値重視証）の認証を受けたワインをおすすめ

株式会社やまや

サステナビリティ活動

やまやグループは、「お酒」と「食」を通じて「持続可能な社会の実現」に貢献します

「地域貢献」

■ 地域清掃・植樹活動

◎ 「海をきれいにする会」による海岸の清掃活動



◎ 店舗周辺地域の清掃(毎月20日)



◎ イオン植樹活動(石巻復興の森)



「社会貢献」

■ 地元プロスポーツを通じた社会活動

◎ プロ野球／東北楽天ゴールデンイーグルス

・東北6県の小学入学児童6万人ヘイグルスカップを提供 ・車椅子を病院や福祉施設へ寄贈

◎ Bリーグ／仙台89ERS

< キッズドリームプロジェクト > ・子供たちをホームゲームに招待 ・バスケットを頑張る子供たちにボールを寄贈

◎ J3／福島ユナイテッドFC

< Jリーガーによるサッカー教室 > サッカー教室を通じて、子供たちに健康な体作りやスポーツの楽しさに触れる機会を提供



■ 障害者雇用

・ 障害者雇用率 2.43%(2023年3月末) → 2.47% ※法定雇用率 2.3%

■ 店頭募金活動

・ 24時間テレビチャリティ募金 ・ 海をきれいに募金 ・ 赤い羽根共同募金(実施中)

■ ローリングストック推進

・ 定期的に新しいものを購入して、古いものは食べて消費し、新しいものを常備する「ローリングストック」を推奨

■ 東北大学 日本初女子大学生 110 周年記念ビール販売

・ 東北・関東エリアの「やまや」93 店舗にて限定販売し、売上の一部は東北大学ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン(DEI)推進基金への寄附

株式会社やまや

注意事項

本資料は、当社公表の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、現時点での入手可能な情報を元に当社が判断した、計画・見通し・戦略など、将来の業績に関する見通しにはリスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、さまざまな要因により、見通しと大きく異なる結果となり得ることをあらかじめご了承ください。

掲載内容には細心の注意を払っておりますが、当社および情報提供元は、情報の完全性、正確性、確実性、有用性、その他の保証を行うものではありません。掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関して、当社は事由の如何を問わず一切責任を負いません。

なお、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。実際の投資の際は、当情報に全面的に依拠することなく、皆様ご自身のご判断でお願い申し上げます。